

いのちの みやざき

文・写真／宮崎雅子

赤ちゃんは守られている

産婦のおなかにいるのは双子の赤ちゃん

傍らで見守る助産師のおなかにも赤ちゃんがいる

産婦はベッドの上で 夫の肩にしがみつき スクワットから立位に

産む人と 生まれようとするいのちを見つめる眼差しは

透明で 柔らかで こちよい温度を保ち続ける

やれることを 静かに黙々と 続ける人

この部屋の外にも 静かに祈る人たちがいる

上のお姉ちゃんが お母さんを心配しながら ぴょんと跳ねている

医師が見守り 助産師が双子の赤ちゃんを 母の胸に一人ずつ手渡した



みやざき まさこ

写真家。写真集に『NICUのちいさいいのち』（メディカ出版）、『胎動』（シヨパン）、共著書に『いのちを産む』（学研）、DVD『いのちの訪れ』（UTE-KIANI）など。出産や赤ちゃんなどのいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。連載をまとめた写真集『Mother』（医学書院）を昨年11月に出版。